

2025 年 7 月 10 日

パナソニック ホームズの建物設計における優秀事例全 18 例を選出
『2024 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』を表彰
～ より高いデザインクオリティの設計提案に向けて ～

パナソニック ホームズ株式会社は、2025 年 6 月 5 日、当社の建物設計における優秀事例を表彰する社内制度『2024 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』（以下、当表彰）の最終審査において、最優秀事例 6 例をはじめとする全 18 例を選出し、表彰しました。

当表彰は、当社の設計従事者の提案力の向上と優秀事例における特長・工夫の水平展開を目的に、2016 年度から毎年実施しています。1 次・2 次の書類審査を経て、最終審査はコンペ形式により、設計者自らが設計計画をはじめ、オーナー様への提案プロセスについて審査員にプレゼンテーションを行い、総合的な設計提案力を評価して選出します。

当表彰の選考は、全 6 コース＜「設計デザインコース（130 ㎡未満/130 ㎡以上）」「空間デザインコース」「事業用物件コース（3 階以下/4 階以上）」「リフォームコース」＞における応募作品の中から、それぞれ最優秀賞、新人賞、「Casa BRUTUS」賞※が選ばれます。

今回の最終審査では、2 次審査を通過した 18 例の中から、最優秀賞 6 例、新人賞 2 例（どちらも最優秀賞とのダブル受賞）のほか、「Casa BRUTUS」賞 1 例を選出しました。

最終審査では、オーナー様の住まいへの思いを的確に引き出して設計に具現化できているか、オーナー様の期待を超えるアイデアや魅力的な提案がなされているかが、評価の主なポイントとなりました。



設計デザインコース（130 ㎡未満）最優秀賞事例
「間口狭小地に建つ開放リビングのある家」外観

近年、住宅や事業用建物の設計において、オーナー様は、新築・リフォームを問わず外観や空間に自身の感性やこだわりを反映させたいという傾向が増えています。当社は、こうしたニーズに応えるべく、設計従事者の提案力とデザインクオリティの向上に向けて、当表彰のほか、優秀設計者を認定する『エキスパートデザイナー』制度などを通じて、継続的なスキルアップ支援に取り組んでいます。

■『2024 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』 概要

- 名 称** : 『2024 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』
- 主 催** : パナソニック ホームズ株式会社 設計部
- 審 査** : ① 応募受付 2024 年 11 月～2025 年 1 月
② 1 次審査 2025 年 1 月～2 月
③ 2 次審査 2025 年 3 月
④ 最終審査 2025 年 6 月 5 日
- コ ー ス** : 【新築戸建住宅】
設計デザインコース(130 m²未満／130 m²以上)
空間デザインコース
【事業用物件】
事業用物件コース(3 階以下／4 階以上)
【リフォーム物件】
リフォームコース
- 賞** : ① 最優秀賞
6 例(上記 6 コースのそれぞれにおいて最も優れた事例を選出)
② 「Casa BRUTUS」賞
1 例(株式会社マガジンハウス「Casa BRUTUS」編集部より選出)
③ 新人賞
2 例(上記 6 コースのそれぞれにおいて、2018 年度以降に新卒定期採用で入社した社員が設計した事例を選出)
④ 入賞
11 例(最優秀賞・「Casa BRUTUS」賞・新人賞の受賞事例以外から選出)
- 対 象 者** : 支社、協業会社、海外事業部門、パナソニック リフォーム(株)に所属する社員のうち、1 級建築士・2 級建築士・インテリアコーディネーターのいずれかの資格を有する設計従事者
- 対 象 事 例** : 2023 年 10 月～2024 年 9 月に完工したオーナー様引き渡し事例
- 応 募 総 数** : 235 事例
- 審 査 員** : パナソニック ホームズ(株) 主要役員
建築家 連 健夫(むらじ たけお) 氏
雑誌「Casa BRUTUS」副編集長 奥村 健一氏
株式会社 est plus17 CSO 小西 範揚(こにし のりあき)氏

■ 『2024 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』 最優秀賞・「Casa BRUTUS」賞 表彰事例

① 設計デザインコース(130㎡未満) 最優秀賞

[設計: パナソニック ホームズ多摩㈱ 山西 宏和]



勾配屋根を活かした明るい2階リビング

【特長】 テーマは「間口狭小地に建つ開放リビングのある家」。接道幅 4.7m・約 26 坪の限られた敷地で、「家族が集まり、ゆっくり過ごせる明るいリビング」を実現しました。

2 階リビングは最高 3.3m の天井高を確保し、勾配天井を活かした木質感あふれる空間が、明るく開放的な雰囲気を演出。また、リビングから水回りまでを一直線に配置し、使いやすい家事動線を確保しました。さらに 2 階と玄関をつなぐ階段からは光を 1 階へ導きます。1 階のプライベート空間には高窓を設けて外からの視線を遮りつつ明るさを確保。外観は、太陽光発電パネルを搭載した切妻屋根に、ブラックを基調に木目が映える外壁でスタイリッシュな印象に仕上げました。

【評価ポイント】 厳しい敷地条件の中、商品の強みを最大限に活かし、採光・動線・素材に工夫を凝らした設計ができています。また、コンパクトでありながら、空間に広がりや温かみ、暮らしやすさを両立できている。

② 設計デザインコース(130㎡以上) 最優秀賞

[設計: 近畿支社 坂上 弘樹]



ホテルラウンジの雰囲気ある
2階のダイニング・キッチン

【特長】 テーマは「～暗さへの挑戦～『真のホテルライク』とは」。毎日多忙なオーナー様が、夜にリラックスできる“ホテルライク”な空間を提案しました。

2 階リビングは、深めの庇(ひさし)付きバルコニーとグレー基調のインテリアカラーが上質な“影”を生み、明るすぎず暗すぎない、ホテルのラウンジのような雰囲気を演出しています。また、玄関ホールも、高級ホテルや旅館のようなシックな雰囲気で、間接照明のみを採用。外構は、道路側に緑地帯を設けることで奥行きある邸宅感を演出します。さらに、来客の玄関アプローチ動線は、ドッグランや駐車場と分離する設計にしました。

【評価ポイント】 「暗さへの挑戦」という革新的なコンセプトを軸に、光と影を活かした空間演出が際立つ。また、町屋風の趣とホテルライクな非日常感が融合し、動線やディテールにも工夫が光る。

③ 空間デザインコース 最優秀賞
[設計:近畿支社 八木 文香]



ペンダント照明が際立つスタイリッシュな
リビング・ダイニング・キッチン

【特長】 テーマは「はじまりの家」。ご夫婦が新たな暮らしをスタートできる住まいづくりを目指しました。

1 階リビングは、キッチンと一体化した食器棚など、統一感のあるデザインを重視して提案。ダイニングのペンダント照明の華やかさが際立ち、食器棚に飾られた食器も美しく映え、ご夫婦のお気に入りの空間になりました。また、階段や吹き抜け空間は、一面にグレーの壁紙でシックにし、異なるデザインのバブルランプを採用して華やかさをプラス。モダンとエレガント、ご夫婦で異なるインテリアの好みや要望に丁寧に寄り添い、調和しながらも個性が引き立つ空間が実現しました。

【評価ポイント】 モダンとエレガントという相反する要望を、素材と空間演出で融合できている。オーナー様のご要望や予算のギャップに対し、チームの連携と丁寧なヒアリングを通じた的確な提案が良い。

④ 事業用物件コース(3 階以下) 最優秀賞
[設計:パナソニック ホームズ多摩(株) 松澤 美智代]



異なる2つの外観を持つ完全分離型併用住宅

【特長】 テーマは「2 つのファサード(外観)を持つ完全分離型併用住宅～」。

外からの視線や音を気にせずに暮らせる住まいを希望されたオーナー様のために、自宅と賃貸部分を完全に分離した設計としました。

自宅の棟には、旧家の趣を継承する寄棟屋根を採用し、賃貸の棟は都会的な印象のフラット屋根とし、分離感を出しました。自宅 1 階には、建て替え前の住まいの書院にあった古材や設えを再利用した 2 間続きの和室を設計。16 の住戸がある賃貸の棟は、ペット対応や IoT 設備がある仕様とし、賃貸物件の競争力を持たせています。異なる 2 つの外観により、それぞれの用途と個性を明確に表現した住まいとなっています。

【評価ポイント】 オーナー様の多様なご要望を丁寧に整理し、賃貸と自宅のゾーニング、動線、収益性、法規制を高次元で調整できている。意匠と実用を両立した提案は、他社との差別化にもつながり、設計者の総合的な提案力と対応力が光る。

⑤ 事業用物件コース(4 階以上) 最優秀賞

[設計: パナソニック ホームズ埼玉西(株) 齋藤 順平]



地域に開かれた明るく清潔感のある医療ビル

【特長】 テーマは「人と街を支える地域健康拠点」。職場環境の改善と地域への貢献を両立できる新社屋を建てたいとのオーナー様の希望により、会社事務所のほか、医療テナントスペースや調剤薬局を併設した5階建て複合ビル。

外観は、重厚なビルのイメージではなく、白いタイル貼りで明るく清潔感のあるデザインに。眺望の良い最上階をオーナー様の会社事務所とし、社内研修やヨガ教室などのイベントに活用できる多目的ホールも併設。また、1階の調剤薬局は、海と緑をイメージした親しみやすい店舗空間に仕上げています。

【評価ポイント】 オーナー様の地域貢献への想いを丁寧に反映し、信頼関係の深さが伝わる提案が良い。手描きのイメージ図による外観デザインの工夫も的確で、地域のシンボルとなり得るデザインでオーナー様・地域双方の満足につながっている。

⑥ リフォームコース 最優秀賞

[設計: パナソニック リフォーム(株) 近畿支社 前田 朋]



ハイグレードな雰囲気の
リビング・ダイニング・キッチン

【特長】 テーマは「忙しい日々にとりゆを生ま出すこだわりの住まい」。4階建て建物の最上階をリフォームした事例。ご主人は来客対応ができるオフィスを、奥様は楽器練習やWEBコンテンツの編集作業ができるスペースを希望されました。

夫婦が暮らし・寛ぐリビング・ダイニングには畳コーナーを設けて和モダンな雰囲気に。床暖房や窓にインナーサッシを採用し、居住性を向上させています。

ご夫婦それぞれの執務・作業スペースもしっかりと確保。家事動線や適材適所の収納も計画され、集中できる場所とくつろぎ空間を両立しました。

【評価ポイント】 オーナー様のニーズに対する精緻なヒアリングと空間構成力により、家事動線・収納計画を高次元で実現できている。スピード感ある設計提案で他社にない対応力と設計精度を示し、信頼構築と差別化に成功した好事例。

⑦ 「Casa BRUTUS」賞
[設計:近畿支社 平見 香織]



大開口からの景色が印象的な
リビング・ダイニング・キッチン

【特長】 テーマは「引き算の家」。高台の立地からの景色を最大限に活かすため、ノイズとなる要素を削ぎ落とす設計を意識しました。リビング・ダイニング・キッチンには、床から天井までの大開口サッシを採用。リビングにはダウンライトを使わないことで、キッチンから外の景色への抜け感を高めています。また、玄関からリビングへと続く建具にはガラス扉を採用して、眺望の抜け感と開放感を演出しています。細部まで眺望にこだわり、日常を離れたような居住性を感じられる住まいとなっています。

【評価ポイント】 借景をいかに美しく見せるかが徹底され、家全体の広がりを感じさせる構成。ディテールの収まりも美しく、ノイズの少ない中に上質な美を宿している。

※ 出版社 株式会社マガジンハウスの月刊誌「Casa BRUTUS」(カーサ ブルータス)の協力で 2024 年から新設

◎ パナソニック ホームズ エキスパート デザイナーの詳細はこちら
<https://homes.panasonic.com/designer/>

* 本件に関するお問い合わせ先 *

パナソニック ホームズ株式会社 宣伝・広報部 ブランド宣伝・広報課 潤随(かんずい)

携帯:080-8544-4376 / E-mail:kanzui.naho@panasonic-homes.com

HP: <https://homes.panasonic.com/company/news/release/>